

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 平成17年度		根拠法令・例規等			
総合計画	大項目 基本構想	01	重点政策「教育」	問	担当課(室)	学校教育課	
	中項目 基本計画	01	将来を担う人材が育つまち		合	職・氏名	指導係長・岡部高弘
	小項目 施策	03	小・中学校教育の充実		先	電話	64-1840
事務事業名		07	小学校運営支援事業	このシート作成に要した時間 1.0 時間			

事業の目的		Plan	
対象 (誰・何に対して)	小学校教職員・小学校児童		
目的 (何のために)	教育活動の活性化及び環境整備		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	小学生にとって、学校が魅力あるものとなるとともに、魅力ある教育活動を展開するために必要な環境であると教職員が感じることができる。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	へき地教育支援事業	へき地複式教育に関する指導助言及び支援を行う。	○
	県へき地教育研究連盟負担金事務	県単位の研究団体である県へき地教育研究連盟への負担金の支払いを行う。	▲
	音楽会・体育競技会等運営支援事業	市音楽会、陸上競技会等に係る児童輸送バスの借上を行い、円滑な運営を支援する。	◎
	小学校教育人材活用事業	平成25年度は非常勤講師4名、支援員を13名を雇用。学習指導の充実、配慮を要する児童の生活支援を行う。	◎
	小学校運営事業	知能検査の公費負担、水泳授業のバス借上及び使用料や教師用指導書購入を行う。	◎
県小学校教育研究会負担金事務	県単位の研究団体である県小学校教育研究会への負担金の支払いを行う。	▲	

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	直接事業費	千円		29,691	21,612	20,424
	必要人員費	人件費	千円	0.33人 3,083	0.33人 12,351	0.30人 3,015
	事業費	千円		32,774	33,963	23,439
	国庫支出金	千円			432	
	受益者負担	千円				
繰入金	千円					
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円		32,774	33,531	23,439	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績		
非常勤講師・教育支援員雇用時間数	時間	17,945	18,440	19,201		
対前年比	%	-	102.8%	104.1%		
活動コスト	円	25,038,000	18,892,000	17,618,000		
単位当たりコスト	円	1,395	1,025	918		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成24年度	平成26年度目標値
学校からの要望に対する非常勤講師等の配置率(%)	目標値(A)	80	80	80	80%
	実績値(B)	78.3	65.3	71.4	到達目標値
	達成率(B/A)	97.88%	81.63%	89.25%	80%
成果指標設定の考え方・式や説明					
非常勤講師等雇用時間数/学校からの要望時間数×100(%) ※非常勤講師等の内訳は非常勤講師(県費・市費)、教育支援員					

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い低い
	必要性	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い低い
市民ニーズ	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い低い
	目的達成度		市民参画度 B

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	市内の小中学校の規模や現状から考えた時、非常勤講師等の配置は必要不可欠である。落ち着いた学校生活や学力向上に向けた取組を推進していく中でも、非常勤講師や教育支援員の効果的な活用を支援していきたい。						

総合評価		Action	
本事業は小学校の教育活動の充実や教育水準の維持に直結するものであり、継続して実施する必要がある。		総合評価	A
		ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い低い	

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	非常勤講師等の配置にあたっては、学校訪問や要望書等で詳細に状況を把握し、教育活動推進上の必要性を考慮しながら毎年配置を検討していく。県費非常勤講師や県費非常勤講師についても、配置目的や学校の教育課題に応じて積極的に要望していく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな